

エンゼル幼稚園のインクルージョンポリシー (包括的な教育に関する方針)

Mission

「子ども達のチャレンジ精神や思いやりの気持ち、
他の人との協調性を育みます。」

Vision

「生き物を思いやり、知識ある真の国際人
を生涯にわたって育てられるコミュニティー
を創って行きます。」

ポリシーの根拠

エンゼル幼稚園では、コミュニティを向上させる上で、インクルージョン(包括的な教育)が重要であると考えています。多様性は自然に存在するからこそ、私たちは計画や学習を児童やスタッフ、関係者のニーズに適応させるよう努めています。このインクルージョンポリシー(包括的な教育に関する方針)は、思いやりのある人、心を開く人の育成に向けてコミュニティをサポートします。

インクルージョンの定義

インクルージョンは私たちにとって、人はそれぞれであることを理解する必要があり、一人ひとりにとって安全で包括的な居場所を作ることが大切だと思います。心を開き、思いやりをもってコラボレーションすることは人間の大切な基盤です。そのために文化や伝統、性別、年齢そして他の多様性とは関係なしに人と交流することを推進しています。

入園について

エンゼル幼稚園に入園を希望する児童は、関係者の面接を受けます。面接は園の教師が行います。これは、どのような児童であるか、またそのニーズとその子が入園した際にどのようなサポートができるかを確認するためです。その後、先生は児童のニーズを知り、適切なコミュニケーション方法で対応できるよう努めます。特別なニーズのある児童について全教員に周知するために、午前と午後の教員会議で児童について毎日伝達を行います。エンゼル幼稚園は主に日本人が通う幼稚園ですが、心を開き思いやりを持つコミュニティーなので他の国から来る子どもはもちろん歓迎します。

特別支援とニーズに合わせた教育

各クラスに2人の先生が割り当てられており、児童のニーズに応えることができます。しかし、クラスの先生以外の先生もサポートを行うため、より安全で実りのある環境を作ることができます。エンゼル幼稚園には、特別なニーズを持つ児童向けの指導計画があります。その計画は、副園長と先生が協力しながら、または保護者の協力の元で、クラスの先生が作成します。

個人的なスペースや時間を作ったり、声掛けや言葉の使い方なども適応させます。また、園児と話し、エッセンシャルアグリーメント(お約束)を作ることがあります。

ランゲージポリシーで述べられているように、私たちは言語を自分の考えや感情を伝えるためのツールと考えていますが、話すことを制限するものではありません。これにより、話すことに慣れていなかったり、異なる文化圏から来た児童が他の方法で自分自身を表現することができ、コミュニティーでの多様性に、より対処できるようになります。

先生への技術開発

日本人の先生向けのワークショップも定期的で開催されています。先生は、各児童がより理解しやすいように、指導計画や授業環境を改善するよう努めます。協働ミーティングにより、先生同士が互いにサポートし改善する場を提供するとともに、教育的リーダーシップチーム(PLT)からサポートを受けます。また副園長は一般財団法人特別支援教育士資格認定協会の資格を取得しコンサルタントとして協力しています。更に、外部の幼児心理コンサルタントの協力も受けています。より良い包括的なコミュニティーを作るには、特別なニーズを持つ児童をサポートするための継続的なスタッフ開発が必要不可欠です。

これがエンゼル幼稚園のインクルージョンポリシー(包括的教育に関する方針)です。